

## EXILE USAさん

錦織監督

映画の現場から



●●51

縁あって、EXILEの皆さんと仲良くさせていただいている。ご承知の通り、EXILEと言えば日本を代表するアーティスト。若者に人気、というイメージもあるが、そのファン層は幅広い。全国のドームツアーに押し寄せる100万人を超える観客たちは幼稚園に通う子どもから60代、70代にも及んでいるのだ。

ライブのチケットはすぐに売り切れ、ファンクラブに入ってもなかなか取れない。テレビで有名だからという名前先行の人気ではなく、ライブを軸に本物のエンターテインメントを提供してきた本物の人気といえる。

リーダーのHIROさんと語り合うたびに、その人気の秘密を垣間見る気がした。素直に、そして真摯に良いものを観客に届けたい、という思いがほとばしって

## 出雲から「ダンスアース」の旅

いるのだ。

みんなを楽しませたい、笑顔になってもらいたい。それが彼らの願い。徹底したこだわりとサービスピ精神は多くの観客をいっぺんに虜にしてしまう。

ある日、メンバーのUSAさんが全国の踊りとコラボする企画が、進行しているという話を聞いた。

「踊り、ダンス」で世界を平和にしたいという願いから、USAさんが「ダンスアース」というプロジェクトを進めて8年。世界を回ったからこそ、あらためて日本人ダンサーとしての自分を見つめ直し、今度は日本中を旅して多くの人が

ちと一緒に踊りたい、というものだった。

私はUSAさんに、出雲の阿国はもしかしたら、日本で初めてのストリートダンサーだったのではないかと、という話をしてみた。

阿国のかぶき踊りは、それまでの踊りにはなかった新しい形であり奇抜なものだった。まさに現代のEXILEではないか、と。ほどなくUSAさんから、ぜひ島根に行きたいという返事がきた。

そして先日、出雲入りが実現し、USAさんは最初に出雲大社を訪れて正式参拝した。大国主命の銅像前のレリーフに書かれた「人

々の幸せの縁を結ぶ」という言葉に、いたく感激していた。幸せを結ぶという出雲の神様の願いこそ、ダンスアースの理念。USAさんは何かを感じたようだった。

その後、USAさんは阿国の墓前に手を合わせた。かぶき踊りから日本舞踊や歌舞伎、お芝居が生まれたということ聞き、出雲は全て芸事のはじまりの地だったと確信した。ダンスアース。USAさんの思いはきつと、みんなに届くと信じている。出雲から全国を巡るUSAさん、頑張れ！(錦織良成・映画監督)

第4金曜に掲載



歌舞伎の始祖・阿国の墓前で手を合わせるEXILEのUSAさん—出雲市大社町、©藤代冥砂